

勉強の いよいよ全国大会へ! ~7月対外模試受験について~



来週から期末考査が始まりますね! 皆さんもその対策に一生懸命取り組んでいることと思います。でも、ちょっと待って! もうひとつ大事なことを忘れていませんか? 7月2日(土)(3年生は翌日も)に実施される全国統一模擬試験のことです。いわば、“勉強の全国大会”出場を控えているのです。

1 なぜ模試受験が必要なのか

皆さんの中には「なぜ休日にな?」「またテスト?」「難しいんでしょ? 勉強しても無駄」と模試に対して否定的な見方をしてしまう人もいますね。ではなぜ休日を返上してまで受験しなければならないのでしょうか?

それは、“**自分自身の学力を知るため**”です。確かに、定期考査も小テストもその力を測るとても大切なものです。しかし、「鹿児島南高校」という狭い中で受験をしているため、本当に力がついているかわからない場合もあるのです(例:丸暗記で満点など)。皆さんが、近い将来、同じ試験を受けて未来を競い合う**相手は、全国115万人以上もいる同級生や浪人生**です(センター試験の受験者は毎年約50万人です)。ですから、彼らに対してどれくらい有利または不利な状況かを常にチェックしておく必要があるのです。そして、さらに上位を目指して学習に励むためのものなのです。

2 受験に当たって

せっかく受験するので、しっかり準備をしておきたいですね。では、何をすればよいのでしょうか? まずは、「**日々の学習の見直し**」です。宿題や日々題、授業のノート等、手元にあつて普段から使っているものをもう一度解き直す。忘れていたり、あいまいになったりしていたものを再度定着させる(実際のセンター試験でも8割以上が教科書から出題されています)。教科書によっては、過去問題を配布するかもしれません。そのときは、ぜひ時間をしっかり計って“**模擬試験の模擬試験**”をやってみてください。終わったら、自己採点して、出した点数で本番の模試の目標点数を決められます。今回は**期末考査の勉強がそのまま模試対策となります**。非常に有利な状況で受験できます。また、**具体的な学校・学部学科を目標にすると、もっと良いです**。配布した冊子『**合格ライン**』にはいろいろな大学・学部学科の合格最低ラインが掲載されています。**毎回模試を受けるたびに、志望校を決める手助けとして、また志望校までの隔たりを確認するものとして大いに活用しよう!**

3 受験後

「**鉄は熱いうちに打て**」と言われるように、記憶が新しいうちに、自己採点や解き直しをすると、より定着します。模試も通過点のひとつ。皆さんは発展途上中です。次に向けて、今回出来なかったところを出来るようにしておくことは定期考査と同じです。

結果の返却は、約1か月後の8月下旬になります。そのときに、再度解き直しをするとさらに定着がよくなります。「忘れたところに復習して再度覚える」、いわゆる**反復練習**。**反復練習に勝る勉強法はありません**。

Q. 偏差値って何ですか?

A. 偏差値とは、受験生全体の平均点を“50”として自分の点数がどれくらいそこから離れているのかを示す数値です。ですから、60、70と上に離れば離れるほど他の人たちより良い点数だったといえます。例えば、自分が60点とったテストでも、平均が70点であれば、偏差値50を下回ります。逆に平均が40点であれば、偏差値は50を大幅に上回ることとなります。このように、点数ではわからない、他者と比較してどうかを示す数値なのです。しかし、60点で偏差値が70以上出ていても、出来ていない問題が40点分あるのですから、しっかり復習をしなければなりません。

Q. 偏差値を1アップさせるには、何点くらい必要ですか?

A. ザックリというと、偏差値1アップするのに、国数英総合で約5点必要です。教科単独では約2点が必要と言えます。偏差値45だった受験生が偏差値50をめざすには、約25点(5点×偏差値5アップ=25)が必要です。この得点をそれぞれの教科に振り分けると、具体的な学習目標にすることができます。

さあ、1年生にとっては高校生になって初めての、2年生にとっては進級して初めての、そして3年生にとっては2次試験を想定した大切な試験(6月マークをセンター試験に見立て、この7月記述を2次試験と想定します。)です。しっかりと準備をして試験に臨もう!